

# 令和3年度教員免許状更新講習（国立大学法人福井大学との共催事業）

## 1. 参加者

	募集人数	参加者数
シーカヤック(SK)	24名	24名
スノーケリング(SNK)	24名	19名

## 2. 事業内容（概要）

### ◆ねらい

体験活動の意義や効果を理解するとともに、実際の自然体験活動を通じて安全に配慮した指導法を体得する。国立若狭湾青少年自然の家の立地・環境を生かした特徴的な体験活動を通しての講習を予定している。体験活動としてシーカヤック又はスノーケリングを予定しているが、荒天時等で実施できない場合は、「活動プログラムの立案に関する演習」又は「安全管理に関する演習」等を実施する。

◆期日・期間 令和3年10月2日（土）・3日（日）選択領域講習：6時間×2

◆主催 国立大学法人福井大学（福井県福井市文京3丁目9番1号）

国立若狭湾青少年自然の家（福井県小浜市田島区大浜）※講習会場

◆対象職種 主に 幼稚園、小学校、中学校、高等学校教諭

その他、保育園、特別支援学校教諭も受講可

◆参加者延べ数 43名（福井県31名、大阪府5名、愛知県3名、三重県4名）

男性16名、女性14名（内30代6名 40代17名 50代7名 60代0名）

### ◆内容

【10月2日（土）】（選択領域講習：6時間）

天候：晴天であった。台風が前日に太平洋側通過し、温帯低気圧に変化したが、矢代湾にはうねりと小波がある状況であった。SK後半は、白波が立ち活動範囲を変更した。

領域	内容と形態	時間	講師等
体験活動に関する理解 評価等	<p>【講義】「青少年期における自然体験活動の現代的意義-水難防止学習を視点に」</p> <p>【講義】「学校教育に活かす自然体験活動における動機づけ方略」 （講師2名が講義） グループごとに意見・実践経験の交流</p>	1.5	岐阜聖徳学園大学 教授 稲垣良介 福井大学 准教授 岸 俊行 福井大学 准教授 大西 将史 天理大学 准教授 杉山 晋平
	<p>【課題・評価等】 レポート作成（1）</p>	0.5	同上
体験活動に関する技能の習得 評価等	<p>【実習】「シーカヤック」</p> <p>① 活動の実施に際し、計画上の留意点や安全管理の方策について学ぶ。</p> <p>② 実際の活動を体験しながら、より教育効果を高める指導方法について学ぶ。</p>	3.5	岐阜聖徳学園大学 教授 稲垣良介 福井大学 准教授 岸 俊行 福井大学 准教授 大西 将史 天理大学 准教授 杉山 晋平 国立若狭湾青少年自然の家 企画指導専門職 高木 一樹 企画指導専門職 吉田 哲朗
	<p>【課題・評価等】 レポート作成（2）</p>	0.5	同上

【10月3日(日)】(選択領域講習：6時間)

天候：朝から快晴であった。海も穏やかで汗ばむ陽気であった。

領域	内容と形態	時間	講師等
体験活動に関する理解 評価等	【講義】「青少年期における自然体験活動の現代的意義-若者自立支援実践から捉え直す」 【講義】「子どもの発達と自然体験活動」 (講師2名が講義) グループごとに意見・実践経験の交流	1.5	福井大学 准教授 大西 将史 天理大学 准教授 杉山 晋平 岐阜聖徳学園大学 教授 稲垣 良介 福井大学 准教授 岸 俊行
	【課題・評価等】 レポート作成(1)	0.5	同上
体験活動に関する技能の習得 評価等	【実習】「スノーケリング」 ① 活動の実施に際し、計画上の留意点や安全管理の方策について学ぶ。 ② 実際の活動を体験しながら、より教育効果を高める指導方法について学ぶ。	3.5	岐阜聖徳学園大学 教授 稲垣 良介 福井大学 准教授 岸 俊行 福井大学 准教授 大西 将史 天理大学 准教授 杉山 晋平 国立若狭湾青少年自然の家 企画指導専門職 高木 一樹 企画指導専門職 吉田 哲朗
	【課題・評価等】 レポート作成(2)	0.5	同上

3. アンケート結果

回答人数30名

(1) アンケート

参加者	4	3	2	1
①事業全体をとおしてどうでしたか	93%	7%	0%	0%
②この事業のプログラムはどうでしたか	87%	13%	0%	0%
③この事業の運営はどうでしたか	90%	10%	0%	0%
④指導・助言や対応はいかがでしたか	93%	7%	0%	0%

4満足 3やや満足 2やや不満 1不満

この事業をどのようにして知ったか。アンケート調査結果(人)

チラシ	人から	インターネット	その他
2	7	20	7

この事業に参加された理由は。アンケート調査結果(人)

内容に興味 があって	友人、知人 に誘われて	上司に勧め られて	講師がよい ので	交友を広げ るため	その他
8	12	1	15	17	16

(2) 参加者の声

- ・水泳自体あまり得意ではない状態で海に出たのでかなり不安でした。実際に何度か呼吸が乱れることがありましたが、最終的には上手く対応できるようになりました。講師の先生方を始め、多くの方にお世話になりました。ありがとうございました。(男性)
- ・とても楽しく活動できました。ありがとうございました。

- ・楽しかったです。ありがとうございました。
- ・間が多いので、スノーケリングと最終レポートの間にお風呂に入れば嬉しかったです。(男性)
- ・体力的に、1日目スノーケリング、2日目にシーカヤックの方がありがたい。(男性)
- ・時間に余裕も持ってプログラムされていましたが、もっと体験活動が長いイメージで参加したので短く感じた。「まだやってみたい」という位で終わって正解なのかもしれません。・・・。(男性)
- ・シーカヤックにスノーケリング、初めてでしたがとても楽しかったです。職員の方の海への愛情、また、海の生物への思い、そして小浜への愛を十二分に感じました。楽しい2日間ありがとうございました。(男性)
- ・免許状更新講習でこの事業に参加して良かったです。なかなか出来ない体験ができました。
- ・講師の先生方の詳しいお話や、具体的な内容も紹介され安心して受講できました。次回講習を考えられている方に紹介したいと思います。ありがとうございました。これからも続けていただきたいです。2日間楽しかったです。(男性)
- ・(宿泊) 大部屋で一人でした。部屋も清潔で居心地が良かったです。
- ・(宿泊) 職員用のお風呂をお借りしました。夜分でしたが親切に対応していただきました。きれいに使いました。
- ・良い時期に企画していただいていると思う。人数もいいくらいです。今後も頑張ってください。(男性)
- ・生きる力を育てるには、体験をするということが大切だと身をもって学びました。今後も、座学だけではなく、このような研修があると良いと思います。ありがとうございました。(男性)
- ・海辺でサンダルを運んでいただいたり、更衣室での配慮等々どうもありがとうございました。(女性)
- ・普段の研修ではできない貴重な体験ができました。海がとてもきれいでした。確かに、においが無いのには驚きました。ありがとうございました。(女性)
- ・2日間の体験学習が楽しく充実したものになるよう、安全面をはじめ、いろいろご配慮いただきありがとうございました。今後の活動に生かしていきたいと思います。(女性)
- ・スタッフの方の説明がとても分かりやすく、充実した一日を過ごすことが出来ました。ご飯もとても美味しかったです。ありがとうございました。(男性)
- ・とても良い時間を過ごすことができました。今後、ぜひ活用していきたいと思います。大変お世話になり、本当にありがとうございました。
- ・今回はシーカヤックだけの参加でしたが、スノーケリングも参加すればよかったと少し後悔しています。午前中の講義も、午後のシーカヤックも良い経験になりました。「体験しないとわからないことが多い」というのを体験しました。先生方、自然の家の職員の方々、色々とお世話になりありがとうございました。また、家族か友人をつれてシーカヤックをしに来たいです。(日帰り 女性)
- ・素敵な講習ありがとうございました。海での実習はなかなか受ける機会がなく受講して良かったです。(女性)
- ・大変楽しく参加できました。先生方も職員の方も大変丁寧に教えていただき分かりやすかったです。ありがとうございました。(女性)

#### ▼低評価

- ・思っていたよりも海水で濡れたので、事前にそのあたりの情報がもう少し詳しく知れたら良かったと思います。良い天気の中で体験中心の講習を楽しむことが出来ました。ありがとうございました。

## 4. 成果、展望、課題

### (1) 成果と展望

#### 成果

- ・アンケート項目①～④にあるように80%以上の満足が得られた。参加者感想記載にあるように、自然体験活動を通して、自然の中でゆったりと満足のいく体験活動となった。また、

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、アルコール消毒の実施、健康状況調査票の記入、指導者のマスク着用、研修室のゆとりある使用等で安心・安全な環境で講習受講をしていただくことができた。

#### 運営上の成果

昨年度は以下の●課題が挙げられた。本年度、福井大学との関係をより強化し課題解決が図られたことが成果と言える。

●実施にあたり、大学側と自然の家側での意思疎通の不足等、課題も浮き彫りになりになった。来年度の実施に向けて、相談の機会を設ける必要があると感じた。特に、双方人事異動で職員が入れ替わり、事業の進め方などの申し送り事項の伝達不足を解消していく必要がある。

⇒令和3年7月16日に福井大学にて、教員、教務課と講習の打合せと意思疎通を行った。その後、幾度となく連絡を取り合い双方安心して講習日を迎えることができた。

●共催の捉え方について、過去を振り返ると、自然の家から大学側へお願いをしている事実を理解する必要がある。

⇒大学での打合せ時に、双方の役割を明確化し業務を確実に行った。

●宿泊者、食堂利用の決定に手間がかかり、申込書等にQRコードを入れ、受講者側から申し込む方式に変更する必要がある。

⇒自然の家から発行する案内文書に、QRコードを入れて、受講者側から申し込む方式に変更した。それにより、業務量軽減に繋がると共に、利用者の希望を受け取ることが可能になった。

#### 展望

- ・総務省「平成23年 社会生活基本調査」によると、ボランティア活動参加者を年齢階級別にみると、40～44歳が35.6%と最も高く、25～29歳が16.5%と最も低くなっている。本講習も同様の割合となることから、自然体験活動の最も活性年代は40代だと考えられる。今後、自然体験学習の普及と啓発には、興味関心、意欲態度ともに活発なこの年代層をターゲットにしていくことも検討していく必要があるかもしれない。
- ・体験活動の意義や効果を理解するとともに、実際の自然体験活動を通じて安全に配慮した指導法を体得することを目的とする。特に、国立若狭湾青少年自然の家の立地・環境を生かした特徴的な体験活動等により、実践を含めた充実した内容とする。(福井大学) 一番のポイントは、教員免許状更新講習であるということ。学んだことを、体験したことを持ち帰り、教育現場で生かすことが出来なければ意味がない。そこで「安全に配慮した指導」を最重要視点として講習を運営することが大切である。安心・安全な状況を作り上げるのは、指導者と体験者の両者であることを共有し、正しい情報により判断されるという経験を目の前で繰り広げることが大切であると考え。
- ・不安かつイライラ腹が立つ講習(研修)は、段取りが悪い(スムーズさに欠ける)、見通しが悪い(何をしたらいいか分かりづらい)、時間に遅れなどが生じ計画通りに進まない。もっとも学ぶ価値がないと感じる。など、まだまだ挙げればきりがない。それらの悪項目をつぶしていけば良いのである。つまり、不安かつイライラ腹が立つ講習にならないように準備しておくことが大切である。R01年度は職員1人体制、R02年度は職員2人体制、R03年度は職員3人体制とした。これにより、より手厚い講習会が実施できている。今後も、野外活動を普及啓発していくためには、本講習を大切に見ていかなければならない。
- ・本所の講習では、先生方の思いやニーズを素早く見取り、同じ立場目線で話が展開できる専門職が野外活動の講習を展開できることが強みである。野外体験活動をとおして、心身がリフレッシュし、自己理解のさらなる深まりを迎える、なにより、同じ立ち場の他者がいることで、より自分に必要な力が見えてきているようであった。「自然は他者になりうる。」海に浮かんだ自分自身をその他者が見守ることで明日への活力がわき、課題解決への突破口が見えてくる。そんなイメージを持ちながら指導にあたるのが大切である。
- ・申込方法のアンカーと結果を見ると、その多くは、インターネット申込であった。福井大学のHPにアクセスしてお申し込みをいただいている。SKは、4/19に24名の定員に達した。SNKは、〆切日までに19名の申し込みがあった。特記すべきは、「人から」である。「この講習良いよ！」と進められて申し込みをされた先生が7名いることは大きい成果と

言えるのではないか。引き続き学びの多い講習会を実現していけるように努力をつづけることが大切である。

・この事業に参加された理由のアンケート結果を見ると、「上司に勧められて」以外は、ばらけている。「交友を広げるため」を回答した先生が17名おり、その割合は57%であった。自然体験を通して交友が広がっている様子が伺えた。「講師がよいので」が15名、割合は50%であったが、講師の情報は人づてなのだろうか？この点は不明である。いずれにしても、それぞれの興味関心で受講を決めていただいているのが分かった。今後も広いニーズに答える施設の指導力（教育力）が必要であろう。

## (2) 課題

- 利用者の声で「思っていたよりも海水で濡れたので、事前にそのあたりの情報がもう少し詳しく知れたら良かったと思います。」が見られた。講習の中でも、濡れることへの理解が無い場面があった。大学の受講案内の受講上の注意には、『◆海に入りますので、水着又は短パン、Tシャツ等の準備をお願いします。』と記載はあるものの、特にシーカヤックは濡れないというお考えが多いのが分かる。この様な声を活かし、特記事項としてその旨を具体的に記載してはどうかと考える。同時に、自然の家から発行している文書にも濡れる格好をお願いしているが、具体的な活動を挙げておくことが望ましいであろう。
- 今後、教員免許状更新講習の廃止が想定されているが、別の形での講習は継続されるであろうと予想される。教職員に対しての講習は、通常の子ども達への研修支援よりも、より専門的な知識や指導スキルが要求される。専門職の入れ替わり等による、講習の意図、意識、指導技術の継承がキーとなる。選ばれる若狭湾になるためにも、この点を疎かにしてはならない。

## 5. その他

- 福井大学の購入備品（自然の家保管）
  - ・シーカヤックパドル×3本

### 10/2(土)シーカヤック講習の様子



### 10/3(土)スノーケリング講習の様子

